

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

食の可能性をひろげる商品を生み出すことで、誰もが幸せに生きられる未来をつくる

ROA
3.2%EBITDA
6%ネットD/Eレシオ
0.7以下

② 中長期の経営戦略

1. 成長投資の推進

成長事業の規模拡大に向けた集中投資。収益力向上につながるDX推進。従業員教育充実と人材への投資

3. ガバナンス強化

取締役会機能の実効性強化。多様性を重視した経営強化。グループ経営強化

2. 財務戦略

資産の戦略的組み替え。ROAとEBITDAを経営指標として設定。有利子負債削減。ネットD/Eレシオ0.7以下目標

4. 飼料事業強化

養魚用飼料の輸出拡大。低魚粉飼料開発スピードアップ。大手養殖場との取組み強化

③ 対処すべき課題

① 原料・エネルギーコスト対応

- ・ 原材料価格高騰とエネルギーコスト高騰への継続対応
- ・ すり身・豚肉・魚粉・穀物など相場変動への対応

② 食品事業基盤強化

- ・ ブランド力・マーケティング力の強化
- ・ エラスチン・ヒシエキス・アスコフィラン等の機能性表示拡大
- ・ 既存・新規取引先での販路拡大と鰻・ブリなどの水産加工品開発

③ サステナビリティ推進

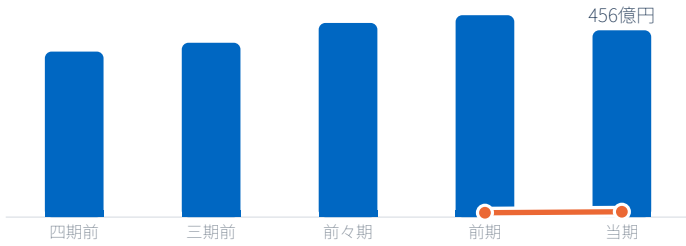
- ・ DXの推進とESGの視点を経営に取り入れ
- ・ SDGsの実践とカーボンニュートラル推進
- ・ 低魚粉飼料開発による水産資源・海洋環境保全

面接で使えるポイント

- ・ Challenge2026で飼料の輸出拡大と価格改定により計画超過達成。原料コスト上昇への対応力
- ・ 2024年5月にパーパス設定。「生きる力」をテーマに食の可能性をひろげる新しい価値観への挑戦
- ・ 霧島黒豚ブランド戦略、エラスチン・ヒシエキスなど機能性素材で、垂直型メーカーの統合力を活かした差別化

証券コード 2286

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
456億円営業利益率
2.9%財務健康度
32点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 43.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
638万円

食料品内 64位/120社

平均年齢
43.8歳

食料品内 21位/121社

平均勤続
19.3年

食料品内 4位/121社

女性管理職
3.5%

食料品内 95位/106社

男性育休
100.0%

食料品内 20位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 林兼産業[2286]: 関係会社株式の減損処理による特別損失（

